



公明党豊島総支部長
東京都議会議員

長橋 けい一

REPORT 2.

動く! 東京。

ますます安心、便利に!

公会計制度導入で隠れ借金を解消

都議会公明党の提案を受け、東京都は2006年度に企業会計の手法である「複式簿記・発生主義会計」を取り入れた「新公会計制度」を全国で初めて導入しました。財産の状況を正確に把握できるようになり、約1兆円の隠れ借金を2年でほぼ解消することができました。

全国初の帰宅困難者対策条例

東日本大震災の時、都内で300万人以上の帰宅困難者が発生したことを教訓に、全国初の帰宅困難者対策条例を昨年、制定しました。条例には①従業員の3日分の食料備蓄②駅などでの利用者保護——などが努力義務に。また、「安否確認や災害情報を提供できる基盤の整備」や「一時滞在施設の確保」などを進めることになっています。

最新技術のがん治療拠点の整備

公明党は積極的ながん対策を講じてきました。中でも、都の「がん・感染症センター」の都立駒込病院に2011年9月、がん細胞にピンポイントで照射する「サイバーナイフ」など、高精度の放射線機器3台を全国で初めて一度に導入。また、病状の進行による苦痛を和らげる「緩和ケア」病棟なども設置。

都営交通にお得でエコなポイント「ToKoPo(トコポ)」

東京都は、2011年8月から都営交通に乗車するとポイントがたまるサービス「ToKoPo(トコポ)」が開始。公明党東京都本部青年局が08年8月に都に要望し実現したものです。

「PASMO(パスモ)」を使って都営地下鉄などに乗車するとポイントがもらえます。1ポイントは1円に換算できます。

INTERVIEW

東京首都決戦と都議会 山口なつお代表に聞く

この夏に予定される東京都議選と東京都議会の意義と歴史について、山口なつお・公明党代表に聞いた。

—この夏の東京都議選には、どのような意義がありますか。

日本再建のためには、「政治の安定」が重要です。経済の建て直しや震災復興の加速化、社会保障と税の一体改革、外交・安全保障など、日本が直面する重要課題を着実に解決し、前進させていくため、今こそ政治の「ねじれ」状態を解消していく必要があります。

東京都議会では前回選挙で民主党が議席を伸ばしたことで、都政の運営などに混乱が生じました。こうした混乱を収拾し、都政が本来持つ政策創造力を発揮することが重要です。



—東京都議会で公明党が果たしてきた役割や歴史は。

公明党は来年、結党50年を迎えます。その結党の間もない時期の主戦場は東京都議会でした。

当時の都政刷新の闘いは、都議会公明党の原点です。高度経済成長期の初期で、庶民の生活はさまざまな制度の歪みに埋もれていました。この中で庶民の声や生活の課題を吸い上げ、都政を改善してきました。また、全国に先駆ける政策の先進モデルを創り出してきたというのも、都議会公明党の歴史です。

国の制度である児童手当は、都議会公明党が全国に先駆けて実現した代表的な政策です。今でも、その伝統を引き継いでいます。

こうした原点を生かし、日本再建に向け、今この夏の政治決戦に全力で挑んでまいります!



REPORT 1.

いのちを守る 都政に真剣

長橋けい一 活動レポート

REPORT 2.

動く! 東京。

ますます安心・便利に!

INTERVIEW

東京首都決戦と 都議会

山口なつお代表に聞く



「いのち」を守る 都政に真剣

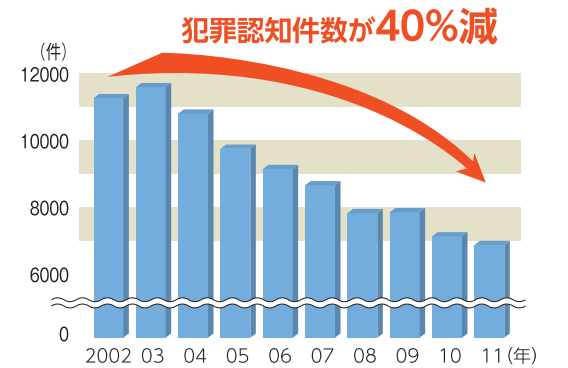
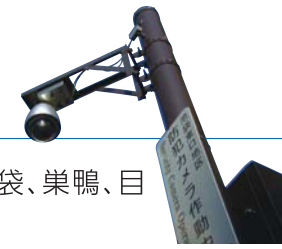
長橋けい一 活動レポート



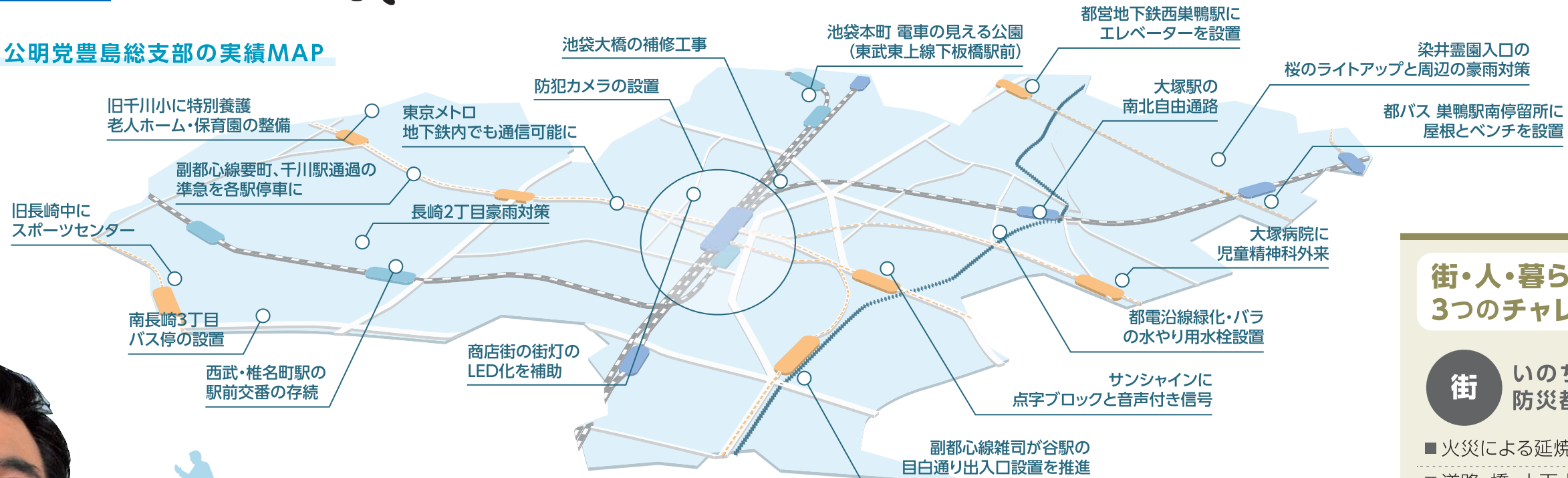
池袋の治安を改善

「危ない街、との印象がある池袋の治安が改善しています。豊島区内の警察署（池袋、巣鴨、目白）の犯罪認知件数は、この10年で40%減少し、池袋では50%近く減少しました。

池袋駅周辺の街角への防犯カメラ設置をはじめ、小中学校や児童館など子どもが集まる区内の施設への防犯カメラ設置と警備会社のパトロール実施を実現しました。また、携帯電話への「豊島区安全・安心メール」の配信も推進しました。



公明党豊島総支部の実績MAP



発達障がい児支援前進の立役者

幼児期や学齢期に言葉や行動、認知などの発達に課題がある「発達障害」。2004年、一人の母親の声を聞き、「法的な支援がないのはおかしい」と行動を起こしました。発達障害者支援法の立法に取り組んでいた公明党国会議員との懇談会を実現し、発達障害者支援法の成立（2004年12月）を推進しました。同法制定で発達障がい者への支援は国や地方自治体の責務となりました。

その後も、都議会で支援の拡充などを訴え、2009年10月に発達障がい児などを支援する「児童精神科外来」が都立大塚病院に開設されました。東京都の相談体制や教育現場の支援拡充なども大きく進みました。

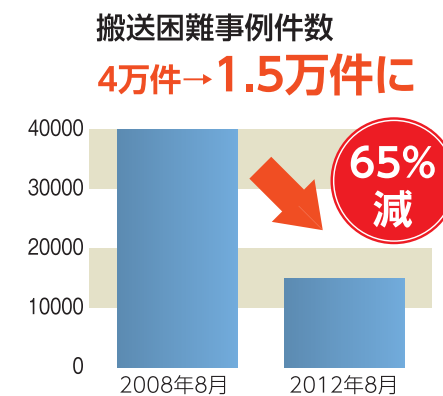


都立大塚病院の児童精神科外来棟

安心の医療体制を確立

救急患者の「たらい回し」の防止に一貫して取り組んできました。2008年8月末からは、医療機関が消防などと連携して受け入れ先を確保する全国初の「救急医療の東京ルール」を導入。導入前は約4万件（全体の6%）あった搬送困難事例は12年同月末には約1万5000件（2.3%）に、3分の1近くに激減。

また、看護師不足解消のため、再就職を支援する看護職員地域就業支援病院を29カ所に拡大。5年間で1100人が復職し、医療現場で活躍しています。



街・人・暮らしを輝かせる！ 3つのチャレンジ

街 いのちを守る 防災都市

- 火災による延焼を防ぐための道路の拡幅
- 道路・橋・上下水道などの耐震化
- 救援や物資運搬の目印となる「ヘリサイン」の全小中学校への設置



人 健康と子育てに安心

- 胃がんの原因・ピロリ菌検査の推進
- がん先進医療ローンの利子補給の実施
- 「サービス付き高齢者住宅」の整備拡大
- 自宅や空き店舗を活用した小規模な「スマート保育」の推進

暮らし 住んでいてよかったという豊島区に

- 危険を伴う老朽空き家への対策
- 転落防止「駅ホームドア」の設置推進



公明党東京都本部副幹事長、同豊島総支部長。都議会公明党幹事長代行。現在都議3期。創価大学法学部卒。区立仰高小学校（1年～3年）、区立朝日小学校（4年～6年）、中学1年から大学卒業までの10年間、バレーボール部に所属、キャプテンを務める。昭和31年10月7日生まれ、56歳。妻と二男二女の6人家族。

東京都議会議員・長橋けい一の活動更新中!

スマホページ

<http://nagahashi.info>



ホームページ

<http://www.komei.or.jp/km/tokyo-nagahashi-keiichi/>



facebookもやってます! 長橋けいいち 検索